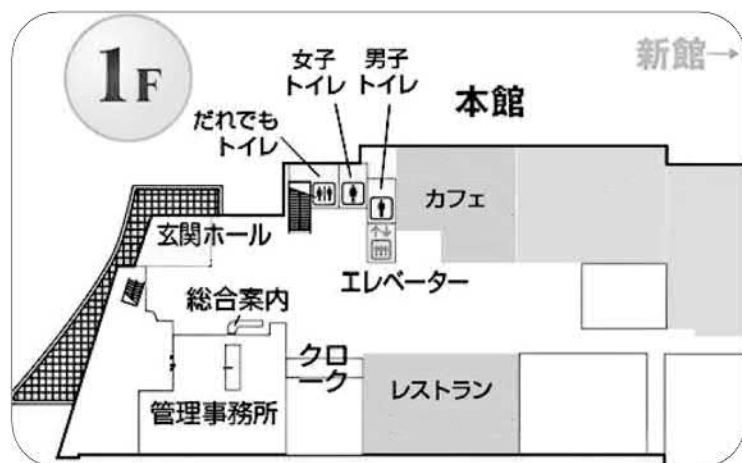
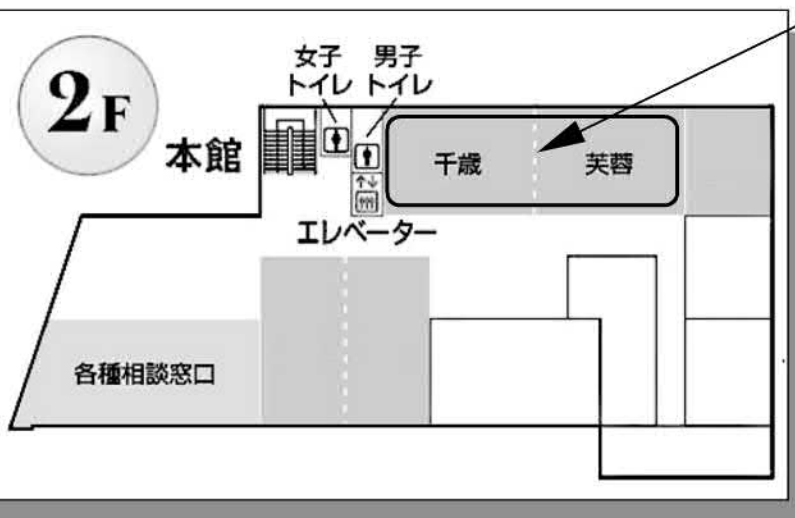


グリーンパレス フロアーマップ



総会の会場は
本館 2階
ちとせ ふよう ま
千歳・芙蓉の間



発行 2023年6月20日
特定非営利活動法人 えどがわ悠人会
〒132-0035
東京都江戸川区平井 1-9-6 大徳ビル1階
TEL & FAX : 03-5626-2998
E-mail : u2edogawa@ybb.ne.jp
Web : edogawayujinkai.or.jp

総会は6月17日(土)
午後2~4時
受付は午後1時半~

会場: 江戸川区グリーンパレス

本館 2階 千歳・芙蓉の間

■交通手段(電車・バス)

JR 新小岩駅(南口)より
都営バス(新小22)葛西駅行
都営バス(新小21)西葛西駅行
※江戸川区役所前下車、徒歩3分

都営新宿線 船堀駅より
都営バス(新小21)系統 新小岩駅行
※江戸川区役所前下車、徒歩3分

■所在地: 江戸川区松島1丁目38番1号
※電話: 03-5662-7687

悠遊舎えどがわ, 第二悠遊舎えどがわ, 悠歩舎, YSG, 悠とピア

2023(R5)年度

特定非営利活動法人 ゆうじんかい
えどがわ悠人会 通常総会

総会資料

日時: 2023年6月17日(土) 午後2~4時

※受付開始は午後1時半~

会場: グリーンパレス本館2階【千歳・芙蓉の間】

※詳細は裏表紙 P26 をご覧ください

目次

次の第1～4号議案は本年度の通常総会において
すべて承認されました(2023年6月17日)。

●第1号議案：2022年度活動報告及び決算報告承認の件

- P 4……………活動報告①【本部】
- P 5……………活動報告②【悠遊舎えどがわ】
- P 6……………活動報告③【第二悠遊舎えどがわ】
- P 7……………活動報告④【悠歩舎】
- P 8……………活動報告⑤【YSG】
- P 9……………活動報告⑥【悠とピア】
-
- P 10～12………決算報告【NPO法人えどがわ悠人会】
(P10_財産目録/P11_貸借対照表/P12_決算書)

●第2号議案：会計監査報告承認の件

- P 13……………会計監査報告2022(R4)年度

●第3号議案：2023年度活動計画(案)及び予算(案)承認の件

- P 15……………活動計画案①【本部】
- P 16……………中期計画を考える会より提案
- P 17……………活動計画案②【悠遊舎えどがわ】
- P 18……………活動計画案③【第二悠遊舎えどがわ】
- P 19……………活動計画案④【悠歩舎】
- P 20……………活動計画案⑤【YSG】
- P 21……………活動計画案⑥【悠とピア】
-
- P 22……………予算案【NPO法人えどがわ悠人会】

●第4号議案：役員改選(案)承認の件

- P 23……………今年度役員改正(案)2023年度
-
- P 24……………事業所一覧
- P 25……………職員名簿

第1号議案

- P 4……………活動報告①【本部】
- P 5……………活動報告②【悠遊舎えどがわ】
- P 6……………活動報告③【第二悠遊舎えどがわ】
- P 7……………活動報告④【悠歩舎】
- P 8……………活動報告⑤【YSG】
- P 9……………活動報告⑥【悠とピア】
-
- P 10～12………決算報告【NPO法人えどがわ悠人会】
(P10_財産目録/P11_貸借対照表/P12_決算書)

第2号議案

- P 13……………会計監査報告2022(R4)年度

前年度活動報告① 2022年度

法人の運営

1. 各種事業

(1) 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

- ①地域活動支援センターⅢ型“悠遊舎えどがわ”の運営
- ②地域活動支援センターⅢ型“悠歩舎”の運営

(2) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

- ①就労継続支援B型事業所“第二悠遊舎えどがわ”の運営
- ②就労継続支援B型事業所“YSG”の運営

(3) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

- ①相談支援センター“悠とピア”の開設・運営

2. 会議

(1) 総会

通常総会：6月17日 さくらホール ※感染症対策の為、通常総会は書面表決で行いました

(2) 運営委員会

2022年度は、12回運営委員会を行いました。

(3) 運営会議等

悠遊舎えどがわ・第二悠遊舎えどがわ・悠歩舎・YSGでは月に1回、利用者とスタッフとで、それぞれの場所に関する運営会議（YSGは運営経営会議）を行いました。悠とピアの運営会議は運営委員会にて行いました。

(4) 事務局会議

理事と職員との意思疎通を図り、事務処理等を迅速に進めるため、事務局会議を12回行いました。

(5) 法人中期計画を考える会

法人の新しい事業を考えるため、6回行いました。生活介護・自立生活援助・ピア活動などについて勉強を行いました。

3. 職員研修

研修を7回行いました。

4. 広報“利用者から表現者へ”

(1) 法人ホームページの運用・更新【edogawayujinkai.or.jp】

(2) 機関誌“遊歩道”の発行

読者の投稿をはじめ、法人内の各事業所の活動報告・月ごとの予定表などを掲載しました。

5. 労務管理

社会保険労務士と連携し、労働者の権利が守られる働きやすい職場作りに取り組みました。

前年度活動報告② 2022年度

悠遊舎えどがわ 地域活動支援センターⅢ型

1. 事業実績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

開所日数：246日／開所日：月～金曜日(10～17時)
利用延べ人数：1,895人(1日平均：7.7人)
年間相談件数：780件／年間電話相談件数：1,217件

2. 事業内容

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用・手洗いうがい・消毒・パーティションの設置・ソーシャルディスタンスを徹底し、以下の活動を行いました。

【グループワークを主とした活動】

- ①ミーティング：毎日2回実施しました。
- ②年間行事：1泊旅行・誕生会・^{いりこ}・卓球などを行いました。
- ③昼食会：毎日実施しました。
- ④夕食会：月1回実施しました。
- ⑤プログラム活動：運営会議で予定表を作成しています。季節の行事や新たな提案もプログラムに盛り込み、実施しています。
- ⑥音楽の会(青首あひる)：毎月3回(土曜日)実施しました。
- ⑦茶話会：メンバーのニーズや日常の悩み、病状等を共有し合い、Ⅲ型独自のグループの成長を図りました。
- ⑧創作の会：1人1人が作品作りを通し、自己表現ができるよう行いました。

【その他の活動】

- ①個別支援：希望に応じて個別相談や送迎、福祉事務所や病院・不動産会社への同行、家計や服薬のお手伝い等を実施しました。また、集団の中で過ごすのが難しい方や来所が難しい方への声かけや訪問も実施しました。
- ②各種事業者との連携
 - a) 障害福祉サービス事業所、福祉事務所、医療機関等と必要に応じて情報の共有や会議への参加、役割分担などを行いました。
 - b) 病院スタッフ・相談支援事業所と連携し、入院中の方が日中の活動場所での体験ができるよう、また、退院の動機や退院後のイメージづくりの一助となれるよう、見学者の受け入れを行いました。
 - c) 行政や関係機関の方と一緒に地活のありかたについての検討に取り組みました。

3. 年間行事

4月：いちご狩り	8月：花火大会	12月：忘年会
5月：潮干狩り	9月：梨狩り	1月：1泊旅行
6月：夏至パーティー	10月：患者交流会	2月：ロピア買い物
7月：商店街福引	11月：バーベキュー	3月：餃子パーティー

前年度活動報告③ 2022年度

第二悠遊舎えどがわ 就労継続支援B型

1. 事業実績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

開所日数：237日／開所日：月～金曜日 10～16時

利用延べ人数：3,863人(1日平均：16.3人)、登録者数：41人／定員：20人

年間相談件数：1,106件、年間電話相談件数：743件

2. 事業内容

- ・引き続き新型肺炎の対策として、作業前の手洗い、パーテーション設置、作業を2部制(各部作業時間を1時間に短縮)とし、密にならない工夫を行った。
- ・大勢の中での作業が困難又は個別サポートが必要な方を中心に、“絆”にて作業の提供を行った。
- ・作業の提供と共に、人間関係や困りごとについてのご相談、やりくりサポート、サービス提供事業所や相談支援事業所との連携等、安心して地域で生活できるよう生活支援を行った。
- ・自主的な来所が難しい方へお声がけや必要に応じて来所予定の確認を行い、継続した来所への支援を行った。
- ・第三者評価を受審し、①人材確保と育成、②非常時の対策、③マニュアルの整備について指摘を受けた。
- ・2月13、14日に自衛消防訓練を行った。
- ・悠遊舎えどがわ(地活Ⅲ型)等と連携し、従来のグループワークを主とした活動を行いながら、以下の活動も実施した。

【レインボーハウス】

- ①ミーティング：レクリエーション・近況・運営に関わる事等を雑談や冗談も交えながら、ざくばらんに話し合った。
- ②作業：新たな作業工程の導入や受注を増やす努力などにより、ほぼ毎日安定して作業を提供することができた。またメンバーの方へ正確な純利益をより還元できるよう、自主製品の材料費の計算方法を変更した。
- ③販売：各種販売会に積極的に参加をし、メンバーの方のオリジナル商品やレインボーオリジナル商品等の販売を行った。また、販売会の目玉商品として、安価で手に取っていただきやすい商品(しおり、ブックカバー)の開発を行った。
インスタグラムを開設(rainbowhouse1111)し、販売会や商品の告知を行った。

【喫茶「絆」】

- ・食品関係の活動を引き続き中断し、面談や会議・少人数での作業の場としての提供を行った。
- ・ピアサポート活動(買い物サポート、洗濯サポート、昼食お届けサポート)を作業の一環として取り組んだ。
- ・新型肺炎への対策を行いながら、WRAPや整体等の活動を行った。

年間行事

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 4月：区役所販売、ドライブ | 10月：患者交流会 |
| 5月：潮干狩り | 11月：バーベキュー、KOIITOマルシェ |
| 6月：夏至パーティー、KOIITOマルシェ | 12月：忘年会、ミラクルマルシェ |
| 7月：映画鑑賞会、葛西臨海水族園 | 1月：1泊旅行(湯河原)、ミラクルマルシェ |
| 8月：花火大会 | 2月：東部祭り、熟年文化祭販売 |
| 9月：梨狩り、ミラクルマルシェ | 3月：餃子パーティー |

前年度活動報告④ 2022年度

悠歩舎 地域活動支援センターⅢ型

1. 事業実績(2022年4月1日～2023年3月31日)

開所日数：234日／開所日：月～金曜日 10～17時

利用延べ人数：2,236人(1日平均：9.5人)

年間相談件数：325件／年間電話相談件数：684件

年間登録者数：85名／年間実利用者数：62名

悠歩舎を利用中診療以外の医療・福祉サービスを受けていなかった人の人数：14名

2. 事業内容

感染症対策を徹底し、所属意識がもてる居場所としての日中活動を行いました。

【グループワーク】

- ①ミーティング：毎日2回実施しました。
- ②運営会議：活動の計画・振り返り・居場所における人間関係の検討を行いました。
- ③年間行事：患者会交流・バンド活動・カラオケ大会・初詣などを行いました。
- ④昼食会：毎日実施しました。
- ⑤プログラム活動：運営会議で予定表を作成しています。季節の行事や新たな提案もプログラムに盛り込み、実施しています。
- ⑥旅行：1泊旅行九十九里(12月)／日帰り旅行 幕張温泉(5月)・浦安万華鏡(2月)を実施。

【その他の活動】

- ①生活支援：個別相談、家計や服薬のお手伝いや同行・送迎・訪問を実施しました。
- ②地域連携
 - a) 障害福祉サービス事業所、福祉事務所、医療機関等と協力し連携しました。
 - b) 病院・福祉施設と共働し入院予防・退院後の暮らしのお手伝いに取り組みました。
 - c) 行政や関係機関の方と一緒に地活のありかたについての検討に取り組みました。
 - d) “精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業”に取り組みました。

年間行事

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 4月：お花見、料理教室 | 10月：患者会交流、つながる音楽会参加、しまむらツアー |
| 5月：患者会交流、幕張温泉、泉の会 | 11月：バーベキュー、ソフトバレー交流 |
| 6月：亀戸クロック、ソフトバレー交流 | 12月：九十九里旅行、クリスマス忘年会、大そうじ |
| 7月：ソフトバレー交流、バンド練習 | 1月：初詣、カラオケ大会 |
| 8月：フットサル交流、バンド練習 | 2月：バンド練習、浦安万華鏡 |
| 9月：バンド練習、ソフトバレー交流 | 3月：お花見、バンド練習、メンバー協力開放時間 |

前年度活動報告⑤ 2022年度

YSG 就労継続支援B型

1. 事業実績(2022年4月1日～2023年3月31日)

開所日数：238日／開所日：月・火・木・金・土曜日 10～17時

利用延べ人数：3,723人(1日平均：15.6人)

2. 事業内容

新型コロナウイルス感染症対策として、来所時の検温・マスクの着用・手洗い・塩素消毒・ソーシャルディスタンスの確保を実施し、以下の活動を行いました。

【グループワーク】

- ①ミーティング：毎日2回実施しました。
- ②年間行事：宿泊旅行・日帰りレク・いちご狩り・卓球などを行いました。
- ③昼食会：調理員を配置し、毎日実施しました。
- ④運営経営会議：月1回開催し、行事費の使い方についてや翌月の予定、また季節の行事や新たな提案を活動に盛り込むことなどを話し合っています。
- ⑤ピアの会：利用者が主催する自助活動(茶話会・レクなど)バックアップ

【ケースワーク】

- ①個別支援：作業を中心とした就労支援など個別支援計画に基づいた支援に加え、希望に応じて相談や福祉事務所・病院への同行、家計や服薬のお手伝い等を実施しました。また、来所が難しい方への声掛けや訪問も実施しました。
- ②各事業所との連携：相談支援事業所・地域活動支援センター・福祉事務所・グループホーム・訪問看護等と必要に応じて連携し、情報の共有や会議への参加、役割分担などを行いました。

【その他】

- ①消防(避難・通報)訓練：12月8日(土の夢)、2月2日(気まぐれ飛行船)
- ②実習生受け入れ：東京福祉専門学校より法定実習生を受け入れました。
- ③第三者評価受審：各種マニュアルの定期的な点検と活用、リスクに備える体制構築、事業継続計画(BCP)の策定とその研修・訓練の実施などについて指摘を受けた。
この内、事業継続計画策定については年度内に終えた。

《主な年間行事》

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 4月：花見会、区役所販売会、アンテナショップ巡り | 10月：亀戸 clock、筑波山レク |
| 5月：旅行ミーティング、葛西臨海公園レク | 11月：バーベキュー、遊園地レク |
| 6月：宿泊旅行(箱根) | 12月：手打ちそばレク、大掃除、忘年会 |
| 7月：よみうりランドレク、映画レク | 1月：新年会、KURUMIRU見学 |
| 8月：映画レク | 2月：上野動物園レク、いちご狩り |
| 9月：カフェ巡り、スーパー銭湯 | 3月：花見会 |

前年度活動報告⑥ 2022年度

相談支援センター 悠とピア 特定相談支援事業

1. 事業実績(2022年8月1日～2023年3月31日)

開所日数：154日／開所日：月～金曜日 10～17時

1日の平均支援件数 約6人(電話、同行、面接などを含む)

その内、モニタリング+計画相談の件数 69件/年(月平均：9件)

年間登録者数：23名

事業開始当初は、年間で40名の登録を見込んでいましたが、最初は相談依頼が少なく、法人内のB型事業所などの利用者の方で担当した方が良い方を検討して行いました。営業活動を行ってゆく中で、徐々に依頼が増え始め、精神保健係、他法人の就労支援事業所などから依頼をいただけるようになりました。

2. 事業内容

【計画相談(特定相談支援事業)】

- ①希望者に障害福祉サービス利用に向けた総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえながら、障害者総合支援法に基づく“サービス等利用計画(案)”の作成を行いました。
- ②障害福祉サービス利用開始後に、定期的にモニタリング等を実施し、適切なサービス利用に向けた調整、訪問、同行等の支援を行いました。
サービス導入の例)江戸川区居住支援事業(転居のため)、江戸川区就労支援事業(就職先での定着支援のため)の導入
同行支援の例)ご家族のご逝去に伴う葬儀手配などの手続きへ同行、生活保護申請相談のため福祉事務所へ同行、サービス導入に伴う面談のため事業所へ同行
- ③利用者のニーズに応じ、行政や福祉・就労・保健・医療機関等との連携を図りました。
- ④温かな、様々な思いを語れる場を目指し、利用者が相談しやすい環境作りを行いました。

【その他の活動】

- ①交流会の実施：悠とピアの利用者同士の横の繋がりを作るため、2023年1月に第1回目の交流会を行いました。自己紹介や情報交換などを行い有意義な時間となりました。
- ②各事業所との連携：障害福祉サービス事業所や福祉事務所、健康サポートセンター等と必要に応じて関係者会議を実施し、情報の共有や役割分担などを行いました。
- ③研修会等への参加：ブラッシュアップ研修への参加や江相連・子相連等の学習会や交流会に参加をし、関係機関との連携を図りました。
- ④運営会議の実施：相談支援事業の検討事項などを話し合うため、毎月の運営委員会の中で悠とピアの運営会議を実施しました。

財産目録 2023 (R5) 年 3 月 31 日現在

NPO 法人えどがわ悠人会

(円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金			998,039
--現金			904,888
--食事会			93,151
預金			108,907,864
--普通預金			108,062,631
--税金納付			845,233
仮払金			118,300
流動資産合計			110,024,203
固定資産			
建物付属設備			18,327,044
機械及び装置			930,195
車両運搬具			4,160,650
器具備品			5,660,054
減価償却累計額			△21,961,388
--建物付属設備			△13,826,903
--機械及び装置			△930,194
--車両運搬具			△3,001,680
--器具備品			△4,202,611
敷金			2,324,968
固定資産合計			9,441,523
資産合計			119,465,726
流動負債			
未払金			0
預り金			487,907
--源泉所得税			363,907
--住民税			124,000
仮受金			291,000
流動負債合計			778,907
固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			778,907
正味財産合計			118,686,819

貸借対照表 2023 (R5) 年 3 月 31 日現在

NPO 法人えどがわ悠人会

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	998,039	未払金	0
--現金	904,888	預り金	487,907
--食事会	93,151	--源泉所得税	363,907
預金	108,907,864	--住民税	124,000
--普通預金	108,062,631	仮受金	291,000
--税金納付	845,233	流動負債合計	778,907
仮払金	118,300	固定負債	
流動資産合計	110,024,203	固定負債合計	0
固定資産		負債合計	778,907
建物付属設備	18,327,044	正味財産の部	
機械及び装置	930,195	前期繰越正味財産	114,715,337
車両運搬具	4,160,650	当期正味財産増減	3,971,482
器具備品	5,660,054	正味財産合計	118,686,819
減価償却累計額	-21,961,388		
--建物付属設備	-13,826,903		
--機械及び装置	-930,194		
--車両運搬具	-3,001,680		
--器具備品	-4,202,611		
敷金	2,324,968		
固定資産合計	9,441,523		
資産合計	119,465,726	負債及び正味財産合計	119,465,726

2022 (R4) 年度 決算書 NPO法人えどがわ悠人会

2022年4月1日～2023年3月31日 (円)

科目	事業所名	本部	悠とピア (相談支援)	悠遊舎えどがわ (地活)	第二悠遊舎 えどがわ(B型)	悠歩舎 (地活)	YSG (B型)	合計
収入								
地方公共団体補助金								
-運営費補助		0	0	8,500,000	0	8,500,000	0	17,000,000
-施設借上費補助(家賃)		0	0	4,033,000	4,791,000	2,603,000	4,979,000	16,406,000
-サービス推進費(基本)		0	0	0	4,569,000	0	5,290,000	9,859,000
-サービス推進費(加算)		0	0	0	0	0	0	0
民間助成金								
-社会福祉協議会		0	0	9,056	0	8,944	0	18,000
-共同募金会		0	0	220,000	300,000	300,000	300,000	1,120,000
-その他		0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
訓練等給付費収益								
-訓練等給付(国保連)		0	690,158	0	30,907,122	0	30,249,523	61,846,803
-訓練等給付(本人負担)		0	0	0	37,200	0	65,205	102,405
利用者負担金収益		0	0	189,500	501,460	400,280	868,200	1,959,440
就労支援事業収益		0	0	3,000	1,254,684	55,000	1,698,669	3,011,353
受取利息		64	0	34	435	77	382	992
雑収益		1,500	160	0	208,400	211,112	976,801	1,397,973
収入合計		1,564	690,318	12,954,590	43,569,301	12,078,413	44,427,780	113,721,966
支出								
給与		1,121,500	1,470,000	5,816,106	12,189,464	7,124,497	16,820,268	44,541,835
賞与		0	630,000	772,000	2,361,940	1,092,526	2,612,456	7,468,922
諸手当		150,004	268,660	1,041,215	3,396,601	917,204	3,855,607	9,629,291
共済費		0	242,344	744,737	3,086,838	732,984	3,241,993	8,048,896
退職給付費		0	56,000	96,000	336,000	96,000	392,000	976,000
健康管理費		0	3,300	8,600	25,435	3,700	0	41,035
報償費		10,000	0	445,600	210,000	0	53,738	719,338
需用費 -光熱水費		0	0	455,791	450,958	326,145	960,713	2,193,607
-消耗品費		0	177,499	299,189	480,450	202,328	663,325	1,822,791
-車両関係費		0	0	0	409,866	22,169	31,141	463,176
-修繕費		0	0	129,681	78,320	0	385,000	593,001
旅費交通費		2,200	1,760	11,406	43,071	6,427	64,832	129,696
役務費 -通信費		0	95,017	462,349	279,189	114,281	253,496	1,204,332
-郵便料金		24,786	13,470	3,154	22,222	4,277	17,532	85,441
-保険料		0	5,450	60,260	306,020	148,590	211,040	731,360
-手数料		16,025	2,970	25,510	28,700	20,675	51,210	145,090
減価償却費		0	0	0	394,181	208,514	1,315,054	1,917,749
備品費		0	0	0	0	0	0	0
食材費		0	0	189,500	496,742	572,165	1,576,250	2,834,657
受注開拓費		16,276	5,346	42,000	42,384	0	51,800	157,806
会議費		38,370	0	0	0	0	0	38,370
研修費		0	0	0	0	0	0	0
利用者補助		0	0	0	139,670	0	169,740	309,410
行事活動費		0	0	439,209	613,974	771,725	1,094,182	2,919,090
施設借上費 -家賃		0	0	4,050,332	4,791,360	2,628,328	4,979,160	16,449,180
-駐車場		0	0	69,795	322,785	216,000	168,000	776,580
-管理更新料		0	0	0	0	0	134,400	134,400
諸会費		0	10,000	0	0	0	23,500	33,500
雑費		0	450	19,800	2,100	12,000	7	34,357
就労支援事業費		0	0	3,000	1,298,644	54,999	1,731,403	3,088,046
広報費		281,328	0	0	0	0	0	281,328
委託金		744,700	0	0	621,500	0	616,000	1,982,200
支出合計		2,405,189	2,982,266	15,185,234	32,428,414	15,275,534	41,473,847	109,750,484
当期経常増減額		-2,403,625	-2,291,948	-2,230,644	11,140,887	-3,197,121	2,953,933	3,971,482

第2号議案：会計監査報告 2022 (R4) 年度

運営委員各位

特定非営利活動法人 えどがわ悠人会

会計監査報告書

先日行いました、悠遊舎えどがわ・悠歩舎・第二悠遊舎えどがわ・YSG・悠とピア・本部会計の令和4年度収支決算の監査結果について報告いたします。

記

悠遊舎えどがわ・悠歩舎・第二悠遊舎えどがわ・YSG・悠とピア・本部会計の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの、令和4年度会計について収支決算を監査いたしました。その結果、上記決算書が公正に作成されており、収支状況が適正に表示されていることを認めます。

令和5年4月28日

監事 井口真吾

令和5年5月7日

監事 木村利信

- P 16……………活動計画案①【本部】
- P 17……………中期計画を考える会より提案
- P 18……………活動計画案②【悠遊舎えどがわ】
- P 19……………活動計画案③【第二悠遊舎えどがわ】
- P 20……………活動計画案④【悠歩舎】
- P 21……………活動計画案⑤【Y S G】
- P 22……………活動計画案⑥【悠とピア】
-
- P 23……………予算案【NPO法人えどがわ悠人会】

法人の運営

超少子高齢化と格差拡大の進行により、数十年にわたって貧困化が進み、生活支援が必要なお年寄りや障がい者・病者の方々の施設や病院への収容も大幅に増加することが予想されています。私達法人が果たすべき役割は何か、みんなで取り組んでいきましょう。

1. 各種事業

(1) 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

- ①地域活動支援センターⅢ型“悠遊舎えどがわ”の運営
- ②地域活動支援センターⅢ型“悠歩舎”の運営

(2) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

- ①就労継続支援B型事業所“第二悠遊舎えどがわ”の運営
- ②就労継続支援B型事業所“YSG”の運営

(3) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

- ①相談支援センター“悠とピア”の運営(交流会を月1回程度開催します)

2. 会議

- (1) 通常総会：2023年6月17日(土)
- (2) 運営委員会：毎月開催
- (3) 運営会議等：各事業所でそれぞれほぼ月1回の開催
- (4) 事務局会議：ほぼ月1回の開催
- (5) 法人中期計画を考える会：ほぼ月1回の開催(次ページに提案があります)

3. 職員研修

定期的・継続的な研修を行います。

※今年度からは“虐待防止・身体拘束適正化”研修も定期的に行います

4. 広報“利用者から表現者へ”

- (1) 映像ワークショップ：メンバー・スタッフが自ら動画を撮影・編集し、記録や発信ができるようになることを目的とします(6～11月の期間で全10回の開催予定)。
- (2) 法人ホームページの運用・更新
- (3) 機関誌“遊歩道”の発行
- (4) サボ展の開催：12月20日～24日(他法人と連携します)

5. 労務管理

社会保険労務士と連携し、労働者の権利が守られる働きやすい職場づくりに取り組みます。

1. 夕方の居場所を作ろう

- ・今年の9月ぐらいいまでは始めよう
- ・夕方5時で閉まっちゃうところが多いしね

2. 高齢化に対応しよう

- ・年をとったメンバーをフォローしよう

3. ピア活動に予算をつけよう

- ・メンバー同士の助け合いや場の管理などなどを生み出し進めるため、内訳のない予算の枠を作ろう
- ・今年度は120万円を提案し、その運用は運営委員会で決定します

4. 新しく始める事業の候補（“地域移行”“生活介護”）に“なごみの家”も加えよう

悠遊舎えどがわ 地域活動支援センターⅢ型

1. 開所計画（2023年4月1日～2024年3月31日）

開所予定日数：246日／開所日：月～金曜日（10～17時）

利用予定延べ人数：1,900人（1日平均：7.7人）

2. 事業計画

【運営方針】

感染予防をしつつ、第二悠遊舎えどがわと協同し、スタッフもメンバーも共に楽しめるような活動を模索していく。また、共同作業所時代から引き継がれてきた、お互いの生活を支え合うピア的な活動を通し、障害を持っていてもその人らしく過ごせるように支援する。

来所が難しくなった方に対しても、電話や訪問を通して私達との関係が切れない様な活動をしていく。

【グループワーク】

- ①ミーティング：毎日2回実施する。
- ②年間行事：1泊旅行・誕生日会・苺狩り・卓球などを行う。
- ③昼食会：毎日実施する。
- ④夕食会：月1回実施する。
- ⑤プログラム活動：運営会議にて希望を募り、行う。
- ⑥音楽の会（青首あひる）：毎月3回（土曜日）10時30分～12時30分。
- ⑦茶話会：毎月1回実施する。
- ⑧創作の会：毎月1回実施する。

【その他の活動】

①個別支援

- a) 病状や近況、金銭を含めた生活相談。
- b) 訪問、同行、送迎等の施設外支援。

②各事業所との連携

- a) 担当医や相談支援事業所、訪問看護師等と連携し、本人がよりよい生活が送れるよう協力体制を取る。
- b) 入院中の方に対して、相談支援員と連携し、積極的に見学者の受け入れを行う。

第二悠遊舎えどがわ 就労継続支援B型

1. 開所計画 (2023年4月1日～2024年3月31日)

開所予定日数：235日／定員：20人／登録者数：41人(2023年4月1日現在)

開所予定時間：【レインボーハウス】月～金曜日 10～16時

【喫茶「絆」】月～金曜日 10～16時

利用予定延べ人数：3,995人(1日平均17人)

2. 事業計画

- ・運営委員会や運営会議、ミーティングの中で悠遊舎えどがわ(Ⅲ型)と協同しつつ、又、独自にも活動内容を点検及び課題を改善しながら、従来の活動に加え新しい活動を模索していく。
- ・悠遊舎えどがわ(地活Ⅲ型)と共同して防災消防訓練を行う。
- ・第三者評価で指摘を受けた、若年層にも目に触れやすい形での活動の情報発信、事業継続計画に関連した訓練・研修の実施、マニュアル作成の価値や必要性のある業務のピックアップに取り組む。
- ・悠遊舎えどがわ(地活Ⅲ型)等と連携し、従来のグループワークを主とした活動を行いながら、メンバー・スタッフ協同で以下の活動を行う。

【レインボーハウス】

- ①ミーティング：作業やレクリエーション・近況・運営に関わることなどを雑談や冗談も交えつつざっくばらんに話し合いながら、活動内容の共有と見直しを行う。
- ②作業：個々の体調やペースに合わせて参加でき、希望される方にできる限り提供することを目指し、作業工程等の見直しを行いながら、更に安定した提供ができる様取り組む。
ミーティングや運営会議での話し合い、個別の聞き取り等を行いながら、作業時間や活動内容等の検討を行い、改善をしていく。
開催される販売会やお祭り等には積極的に参加していく。
- ③生活支援：安心して地域で生活できるよう、来所相談や電話相談、訪問、関係機関との連携等を組み合わせながら必要なサポートを行う。既存の制度と共に新たな支援の形をメンバーの方と共同して創造してゆく。

【喫茶「絆」】

ミーティングや販売会への参加、広報・宣伝活動等はレインボーハウスと同様に行いながら、以下の独自の活動も実施する。

①作業

- ・新型コロナウイルスの予防対策を行いながら、安全な食品関係の活動の再開や新たな活動についても模索していく。
- ・緩やかに少人数で作業できるスペースとして活用すると共に、WRAPやピア活動など、メンバーの方が主体となる活動を行う。

②生活支援

面談や会議のスペースとして活用する。

悠歩舎 地域活動支援センターⅢ型

1. 開所計画(2023年4月1日～2024年3月31日)

開所予定日数：235日／開所日：月～金曜日 10～17時

利用予定延べ人数：2,350人(1日平均：10人)

2. 事業計画

【運営方針】

主に精神障がい者の利益に寄与することを基本方針とする。所属意識が持てる居場所としての日中活動を重点的な取り組みとする。好きな時に好きなものについてでも気楽に背伸びせず参加できる・月曜日から金曜日まで開いている・差別に向き合い自由と回復を求める居場所を維持してゆく。お金をうまく使う・ほどよい距離を保ち仲間をつくる・まわりの人にわかって(いて)もらう・長く精神病とつきあってきた人から継承する、それらの知恵をこれからも大事にしてゆく。

【グループワーク】

- ①ミーティング：近況を聞きあう。提案・振り返り・個人や活動の補足を行う。
- ②運営会議：活動の計画・振り返り・居場所における人間関係の検討を行う。
- ③年間行事：旅行や季節の行事を共働し、楽しみつつ一緒に行う。
- ④昼食会：月～金曜日。メニューを話し合っ決めて、一緒に作っていただく。
- ⑤プログラム活動：運営会議で話し合っ活動を計画し、実施し、振り返る。
- ⑥防災訓練：年に1回行う。

【その他の活動】

- ①生活支援：個別相談、家計や服薬のお手伝いや同行・送迎・訪問を行う。
- ②地域連携
 - a) 障害福祉サービス事業所、福祉事務所、医療機関等と協力し連携する。
 - b) 病院・福祉施設と共働し入院予防・退院後の暮らしのお手伝いに取り組む。
 - c) 行政や関係機関の方と一緒に地活のありかたについての検討に取り組む。
 - d) “精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業”に取り組む。

YSG 就労継続支援B型

1. 開所計画 (2023年4月1日～2024年3月31日)

開所予定日数：238日／開所日：月・火・木・金・土曜日 10～17時

利用予定延べ人数：4,046人(1日平均：17人)

2. 事業計画

【運営方針】

- 就労支援を主軸としながら、障がいを持っていても、その人らしく過ごせるような活動を共に模索し支援する。
- もともと抱える障がいに加え、コロナ禍で精神的・物理的に孤立を深める方の、安心できる居場所・活動先・相談先として機能する。

〈カフェ〉 通常のカフェ営業に加え、季節のお菓子販売やイベントの開催を通じて、地域の方々に親しまれる場所を目指す。利用者一人ひとりが持つ面白さを、YSG“気まぐれ飛行船”の魅力として発信したい。

〈陶芸〉 陶芸会議や“ちょこっとミーティング”等を活用して“土の夢”の商品力を磨き、KURUMIRUをはじめとした市場で更なる認知の向上を目指す。

上記の作業目標の達成が、工賃向上のみに留まらず、利用者が社会へつながる手段となり、自信の回復や新たな社会的役割の獲得に寄与すると考える。

【グループワーク】

- ①ミーティング：毎日2回。
- ②年間行事：旅行(日帰り・宿泊)・お花見・忘年会・遊園地・いちご狩り・映画・卓球等。
- ③昼食会：調理員を配置し、毎日実施。
- ④ピアの会：利用者主催の自助活動(主に開所日開催)バックアップ。
- ⑤運営経営会議：月1回(原則第3火曜日)開催し、行事費の使い方・翌月の予定・季節の行事や新たな提案を活動に盛り込むことなどを話し合います。

【ケースワーク】

- ①個別支援：個別支援計画に基づいた支援、希望に応じた相談・家計や服薬のお手伝い等を行います。
- ②各事業所との連携：相談支援事業所・地域活動支援センター・福祉事務所・訪問看護・グループホーム・医療機関等と必要に応じて連携し、情報の共有や会議への参加、役割分担などを行う。

【その他】

- ①実習生受け入れ：精神保健福祉士等養成課程の法定実習・地域連携実習を行う。
- ②防災・消防訓練：年2回実施。
- ③前年度第三者評価の指摘事項について、着実な改善を目指す。

相談支援センター 悠とピア 特定相談支援事業

1. 開所計画 (2023年4月1日～2024年3月31日)

開所予定日数：235日／開所予定時間：月～金曜日 10～17時

1日の平均支援件数：約9人(電話、同行、面接などを含む)

その内、モニタリング+計画相談の件数 104件／年(月平均：14件)

年間登録予定者数：46人

2. 事業計画

【運営方針】

- ・相談支援事業が法人の基盤事業の一つとなるように、引き続き相談支援事業を強化してゆく。
- ・一人一人の利用者のニーズに応じ、法人内の他事業(地活、B型)と協働しながら、障害福祉サービスを利用した事のない方への体験利用等を通して、法人の強み(利用者自身が支援者)を生かし、それぞれの自信に繋げる相談支援を行ってゆく。
- ・地域社会の中で、“自分らしい安心した生活”が送れるようにすることを目的とし、以下の事項に取り組む。

【事業内容】

- ①障害者総合支援法に基づき、希望者に障害福祉サービス利用に向けた総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、“サービス等利用計画(案)”の作成を行う。
- ②障害福祉サービス利用開始後に、定期的にモニタリング等を実施し、適切なサービス利用に向けた調整、訪問、同行等の支援を行う。
- ③利用者のニーズに応じ、行政や福祉・就労・保健・医療機関等との連携を図ってゆく。
- ④利用者が相談しやすい支援環境を作る。温かな、様々な思いを語れる場を目指す。

【その他の活動】

- ①支援対象の拡大：2023年4月より計画相談の対象を精神障害、身体障害、知的障害へと広げ、利用者の様々なニーズに応じた支援を行ってゆく。
- ②地域移行支援事業開始の準備：病院からの退院支援を開始するための準備を行ってゆく。
- ③交流会の実施：悠とピアの利用者同士の横の繋がりを作るため、引き続き、交流会を行ってゆく。
- ④研修会等への参加：相談支援専門員初任者研修、ブラッシュアップ研修等の受講。江相連・子相連などの学習会や交流会に参加をし、関係機関との連携を図ってゆく。

今年度予算(案) NPO法人えどがわ悠人会 2023(R5)年度

2023年4月1日～2024年3月31日 (円)

科目	事業所名	本部	悠とピア (相談支援)	悠遊舎えどがわ (地活)	第二悠遊舎 えどがわ(B型)	悠歩舎 (地活)	YSG (B型)	合計
収入								
地方公共団体補助金								
-運営費補助		0	0	8,500,000	0	8,500,000	0	17,000,000
-施設借上費補助(家賃)		0	0	4,033,000	4,791,000	2,603,000	4,979,000	16,406,000
-サービス推進費(基本)		0	0	0	4,080,000	0	5,386,000	9,466,000
-サービス推進費(加算)		0	0	0	0	0	0	0
民間助成金								
-社会福祉協議会		0	0	639,000	0	9,000	0	648,000
-共同募金会		0	0	272,000	300,000	300,000	300,000	1,172,000
-その他		0	0	0	0	700,000	0	700,000
訓練等給付費収益								
-訓練等給付(国保連)		0	2,220,000	0	30,900,000	0	31,000,000	64,120,000
-訓練等給付(本人負担)		0	0	0	0	0	0	0
利用者負担金収益		0	0	190,000	500,000	400,000	800,000	1,890,000
就労支援事業収益		0	0	3,000	1,255,000	30,000	1,600,000	2,888,000
受取利息		0	0	50	300	0	0	350
雑収益		0	0	0	100,000	0	600,000	700,000
収入合計		0	2,220,000	13,637,050	41,926,300	12,542,000	44,665,000	114,990,350
支出								
給与		1,200,000	2,520,000	5,833,426	13,840,416	6,940,481	16,609,632	46,943,955
賞与		0	630,000	672,000	3,309,192	816,000	2,811,240	8,238,432
諸手当		150,000	465,000	951,593	2,976,768	383,230	3,800,000	8,726,591
共済費		0	540,000	750,000	3,200,000	740,000	3,000,000	8,230,000
退職給付費		0	96,000	96,000	384,000	96,000	384,000	1,056,000
健康管理費		0	20,000	20,000	120,000	5,000	50,000	215,000
報償費		10,000	0	435,600	240,000	240,000	100,000	1,025,600
需用費-光熱水費		0	0	450,000	460,000	330,000	1,000,000	2,240,000
-消耗品費		0	108,000	300,000	590,000	200,000	900,000	2,098,000
-車両関係費		0	0	108,000	150,000	200,000	250,000	708,000
-修繕費		0	0	953,000	50,000	940,000	400,000	2,343,000
旅費交通費		10,000	10,000	10,000	50,000	7,000	65,000	152,000
役務費-通信費		0	144,000	460,000	300,000	120,000	250,000	1,274,000
-郵便料金		25,000	20,000	10,000	25,000	5,000	20,000	105,000
-保険料		0	5,130	128,440	220,370	150,000	220,000	723,940
-手数料		16,000	5,000	30,000	31,000	10,000	55,000	147,000
減価償却費		0	0	0	390,000	208,514	1,315,054	1,913,568
備品費		0	0	0	0	0	0	0
食材費		0	0	190,000	500,000	570,000	1,600,000	2,860,000
受注開拓費		160,000	0	42,000	56,000	0	60,000	318,000
会議費		40,000	100,000	0	0	0	0	140,000
研修費		0	0	0	50,000	5,000	0	55,000
利用者補助		0	0	0	160,000	0	150,000	310,000
行事活動費		1,850,000	0	615,000	700,000	780,000	1,505,000	5,450,000
施設借上費-家賃		0	0	4,033,332	4,791,360	2,603,328	4,979,160	16,407,180
-駐車場		0	0	279,180	216,000	216,000	168,000	879,180
-管理更新料		0	0	0	0	0	134,400	134,400
諸会費		10,000	5,000	0	10,000	0	20,000	45,000
雑費		0	0	0	5,000	10,000	10,000	25,000
就労支援事業費		0	0	3,000	1,255,000	30,000	1,600,000	2,888,000
広報費		1,270,000	0	0	0	0	0	1,270,000
委託金		750,000	0	0	0	0	150,000	900,000
支出合計		5,491,000	4,668,130	16,370,571	34,080,106	15,605,553	41,606,486	117,821,846
当期経常増減額		-5,491,000	-2,448,130	-2,733,521	7,846,194	-3,063,553	3,058,514	-2,831,496

第4号議案：役員改選(案) 2023(R5)年度

特定非営利活動法人 えどがわ悠人会

役職名	職務	氏名	2023年度提案
理事	代表	大井 徹	再任
理事	副代表	笠 まゆ彦	再任
理事	副代表	岩崎 祥子	再任
理事	会計	田中 友子	再任
理事	相談役	梅澤 剛	再任
理事	相談役	吉澤 浩一	再任
理事	事務局長	元木 正和	再任
理事		山本 一成	再任
理事		田中 正信	再任
監事	監査	木村 利信	再任
監事	監査	井口 慎吾	再任

定款：第3章・第11条

(1) 理事7名以上

(2) 監事2名以上

※理事のうち、

1人を代表、2人を副代表、

1人を事務局長、1人を会計、

2人を相談役とする

事業所一覧

えどがわ悠人会公式ホームページ
edogawayujinkai.or.jp



● **悠遊舎えどがわ** 地域活動支援センターⅢ型
132-0035 江戸川区平井 1-9-6 大徳ビル1階
TEL & FAX : 03-5626-2998 / IP 電話 : 050-1564-7807
E-mail : u2edogawa@ybb.ne.jp

● **第二悠遊舎えどがわ** 就労継続支援B型事業所
レインボーハウス
132-0035 江戸川区平井 1-6-10 チェルシー泉1階
TEL : 03-5628-2706 / FAX : 03-5628-2707
E-mail : u2edogawa@ybb.ne.jp / インスタグラム : rainbowhouse111
喫茶「絆」
132-0035 江戸川区平井 1-3-12 / TEL : 03-3682-6567

● **YSG** 就労継続支援B型事業所
土の夢
132-0023 江戸川区西一之江 4-16-11 前波ビル1階
TEL & FAX : 03-3655-7224
E-mail : ysg@oregano.ocn.ne.jp
気まぐれ飛行船
132-0023 江戸川区西一之江 3-1-2 ライオンズマンション親水公園南 102号
TEL : 03-3656-4252
http://k-hikousen.com

● **悠歩舎** 地域活動支援センターⅢ型
132-0023 江戸川区西一之江 4-1-6 啓成ハイツ松江 1F-A
TEL : 03-3654-3557 / FAX : 03-5663-1781

● **相談支援センター 悠とピア** 特定相談支援事業
132-0023 江戸川区西一之江 4-1-6 啓成ハイツ松江 1F-A
TEL & FAX : 03-5879-9377 / E-mail : utopia_edogawa@outlook.jp

悠遊舎えどがわ (地域活動支援センターⅢ型)

稲葉 友希	常勤 (週5日)	施設長
畠 孝実	非常勤 (産休中)	生活支援員
鈴岡 恵理	非常勤・兼務 (週2日)	生活支援員
大井 徹	非常勤・兼務 (週1日)	生活支援員
白井 あまね	非常勤 (週2日)	生活支援員
古井 敬大	非常勤 (週1日)	生活支援員

第二悠遊舎えどがわ (就労継続支援B型事業所)

岩崎 祥子	常勤 (週5日)	管理者・サービス管理責任者
山本 一成	常勤 (週5日)	生活支援員
浅香 千晶	常勤 (週5日)	職業指導員
高橋 実幸	常勤 (週5日)	目標工賃達成指導員
早川 華子	非常勤 (週4日)	職業指導員兼生活支援員兼調理員
鈴岡 恵理	非常勤・兼務 (週1日)	調理員

悠歩舎 (地域活動支援センターⅢ型)

田中 正信	常勤 (週5日)	施設長
大井 徹	非常勤・兼務 (週1日)	指導員
奥田 直子	非常勤 (週1日)	指導員
金子 香織	非常勤 (週2日)	指導員
目黒 美穂子	非常勤 (週1日)	指導員
中里 菊美	講師 (週4日)	調理補助担当
梅澤 剛	委託契約	事務管理担当

YSG (就労継続支援B型事業所)

笠 まゆ彦	常勤 (週5日)	管理者・サービス管理責任者
田中 友子	常勤 (週5日)	生活支援員
室町 直美	常勤 (週5日)	職業指導員
高橋 季世	非常勤 (週5日・6時間/日)	職業指導員
望月 春子	非常勤 (週1日)	職業指導員
若林 和正	非常勤 (週3日)	目標工賃達成指導員
佐藤 周	非常勤 (週2日)	目標工賃達成指導員
植木 志保	昼食時 (週5日・3.5時間/日)	調理員
田邊 明美	昼食時 (週5日・2時間/日)	調理員
八木 繁子	昼食時 (週5日・2時間/日)	調理員

悠とピア (特定相談支援事業)

川口 諒	常勤 (週5日)	相談支援専門員
大井 徹	非常勤・兼務 (週2日)	管理者

本部

元木 正和		事務局長
椎名 真規子		会計事務担当
早川 華子		会計事務担当